

平成 26 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	マクロ経済学

以下の問 1, 問 2 の両方に解答しなさい。なお, 問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し, 問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 ある経済における財市場と貨幣市場を考える。短期を考え, 物価水準  $P$  は 1 に固定する。ここで,  $Y$  を産出量,  $r$  を利子率, 貨幣供給量を  $M$  とする。さらに, 消費関数  $C(Y)$ , 投資関数  $I(r)$ , 貨幣需要関数  $L(Y, r)$  がそれぞれ,  $C(Y) = \sqrt{Y}$ ,  $I(r) = I_0 - ar$ ,  $L(Y, r) = kY - br$  で与えられている。ただし,  $I_0, a, b, k$  は正の定数である。このとき以下の問いに答えよ。

- (1) 財市場の均衡式および貨幣市場の均衡式をそれぞれ書き出せ。ただし, ここで挙げられていない記号は追加する必要はない。
- (2) IS 曲線を  $(Y, r)$  平面にできるだけ正確に描け。
- (3) 拡張的金融政策 (貨幣供給量の増加) は産出量  $Y$  および利子率  $r$  に対してどのような効果をもつか, このモデルに則してできるだけ詳しく分析せよ。

問 2 ある経済の生産関数 (GDP と生産要素の間の技術的關係) が, 次のようなコブ＝ダグラス型で表されるものとする。

$$Y = K^\alpha L^{1-\alpha} \quad (0 < \alpha < 1)$$

ここで,  $Y$  は産出量 (GDP),  $K$  は資本量,  $L$  は労働量であり, これらはいずれも時間  $t$  の関数である。  $\alpha$  はある一定の値をとるものとする。ソロー・モデルを想定する場合に, 資本の成長率 (保証成長率) と労働の成長率 (自然成長率) が長期的に一致することを導出せよ。なお, 説明に必要な仮定, 記号の定義は省略せずに詳細に記述し, 図を使いながら明快に説明すること。

以上